

## § 3 聖ピオ保育園

### 1. 事業概要

- ・認可保育所(定員 120 名 弾力化運用により在籍は 124 名)  
保育標準時間 (7:00~18:00) 保育短時間 (9:00~17:00)
- ・一時預かり事業  
一時保育 短期特例保育(中野区よりの委託)
- ・延長保育事業 1時間(18~19:00) 2時間(18~20:00)
- ・地域支援事業(子育て支援事業、世代間交流事業、小中高生の職場体験)

### 2. 施設運営

#### (1) 児童数

- 定員 120 名 在籍数 124 名
- 一時預かり事業  
一時保育定員 8 名  
登録数 168 名  
利用実人数 296 名 利用延人数 879 名  
短期特例保育定員 2 名  
利用実人数 15 名 利用延日数 164 日
- 延長保育事業 定員 概ね 40 名  
延べ登録数 (1時間) 399 名 (2時間) 61 名  
時間外利用延べ人数 297 名

#### (2) 職員数

3/31 現在	42 名 (内、非常勤職員 8 名 派遣保育士 2 名)
	直接処遇職員 23 名 産休 2 名・育休 2 名
28 年 3 月退職	常勤 1 名 (保育士) 非常勤 1 名 (保育士)
同 4 月採用	常勤 2 名 (保育士 1 名 栄養士 1 名) 非常勤 1 名 (保育士)
同 4 月退職	常勤 1 名 (栄養士) 7 月退職者 常勤 1 名 (保育士)

#### (3) 児童処遇

##### ① 行事

5 歳児の林間保育(保護者との共催)は保護者と十分に協議を重ね、行き先・日程・行程・内容等を決定し実施した。

誕生日会を毎月行い、給食も特別献立を提供した。

アートコンテストを実施。

中野区の要請により、身体能力測定を実施。(4, 5 歳児)

1 月のもちつき大会は、インフルエンザ流行に伴い、感染症拡大予防とお餅をのどに詰まらせる等の事故防止のため中止した。(嘱託医と相談)

2 月には 5 歳児が若宮小学校で学校探検を行った。

その他の行事はほぼ計画通りに実施できた。

##### ② 保健

手洗い指導、歯科衛生講習(区歯科衛生士の指導)を行った。

身体測定・健診等、保健に関するものは計画書通りに行っている。

③ 調理

栄養のおはなし、調理保育等計画通り実施している。

アレルギー除去、代替食対応児…11名(エビ・ペン預かり1名含む)

④ 保護者

保護者会参加者 4月…107名 2月…109名

個人面談(全園児)

⑤ 巡回指導等：療育センターアポロ園 (4/28, 9/5, 10/11, 2/20)

対象児 計18名

0歳児 1名 (区判定 程度2)

1歳児 1名

2歳児 3名 (内、区判定 程度2が1名)

3歳児 4名 (内、区判定 程度3が2名)

4歳児 4名 (内、区判定 程度3が1名)

5歳児 5名

(4) 研修・会議

- ・新任職員について、園長と統括主任がそれぞれ研修を行った。
- ・月1回、乳児、幼児に分かれて研修を実施。
- ・プール遊び、個人面談、エビ・ペンの打ち方、アレルギー児救急時の対応、靴のはき方について全体研修。
- ・その他、区役所・東京都社会福祉協議会等主催の研修に積極的に参加。
- ・職員会議、主任会議、リーダー会議、クラスミーティング等については計画通り月1回実施した。
- ・乳児院との交流研修を計画したが、感染症の流行等で延期となり次年度に行う予定。

(5) 防犯・防災

- ・月1回各訓練を実施。
- ・若宮小学校への避難の訓練。
- ・炊き出し訓練実施。
- ・上級救命講習の受講。(12名)3年計画で、全職員が上級救命講習を受ける予定。
- ・9月1日引き渡し訓練実施
- ・竜巻、洪水の際の避難訓練
- ・ヒヤリハット他 257枚

(6) ボランティア・実習生・職場体験

- ・実習生：7校 15名
- ・ボランティア：1校 1名
- ・職場体験：高校…4校 7名 中学校…2校 3名

(7) 工事・購入

- ・非常用全館放送設備設置…3,110,400円
- ・園舎北側避難経路整備…1,479,600円 計4,590,000円  
(民間社会福祉施設設備改善整備費補助金 2,295,000円)
- ・ビデオカメラ設置…321,840円(業務効率化推進事業補助金100,000円)
- ・保育業務支援システム導入…865,000円(業務効率化推進事業補助金865,000円)

(8) 地域交流活動・支援事業

- ・おはなしひろば(毎月第1土曜日)：延べ69名参加
- ・しらさぎ桜苑との交流(月1回) 体験保育 4名

(9) その他

①第三者評価…報告事項1 参照

②苦情対応…平成28年度は、第三者委員に報告すべき苦情はありませんでした。

③その他

○社会福祉法人の社会的役割のひとつである地域支援として、一時預かり事業・世代間交流・子育て支援を行いました。

一時保育は、短時間就労のため保育園に入園できなかった児童や家庭の利用が多く定期的に利用される家庭が増えました。

世代間交流は近くのしらさぎ桜苑との交流を月に一度実施し、とても喜んでいただいております。子ども達も一緒に活動することを楽しみにしています。

子育て支援は、昨年より新たに取り入れ、月に1度のおはなし広場や親子クッキング等で地域の子育て家庭との交流を行っています。毎回楽しみに来てくださる家庭が増えていきます。

○乳児一人ひとりのきめ細かい保育を目指して、今年度より0,1歳児の3グループ保育を実施しました。月齢と発達状況でグループ分けし、10月までの半年間行った結果、子ども達は全体に落ち着いて過ごすことができ職員も協力しあって保育を進めることができました。フリーの職員の動きや短時間勤務の職員の動き等細かい部分での反省点は次年度へ活かしていきたいと思っています。

○働きやすく、長く勤務してもらえ職場を目指して休憩時間の確保や事務作業の効率化等を行ってきました。

毎年退職する職員もいますが結婚出産しても復職して働いてくれている職員が増えていることは大変嬉しいことです。

反面昨今の保育士不足の中、産休や育休の代替職員を採用することは大変難しい状況にあります。副園長が中心となり、様々な手段を用いて求人を行ったり、統括主任をはじめとする職員が勤務時間のやりくりをしています。お預かりしているお子さんの安全や健全な成長発達を保障するためにも派遣職員の採用にならざるを得ませんでした。そのため、人件費が膨れ上がる一方ではありますが、皆様のご理解をお願いいたします。ただ、この派遣職員に関しては、話し合いの結果次年度から正規職員として働いてもらうこととなり、嬉しく思っております。

事務作業軽減のためのIT化については今年度をもって完成し、PCを各クラスに1台配したことで作業がしやすくなり職員も使い方に慣れてきました。これからは細かい修正作業となります。

○保育中の重大事故の防止と検証のためという区の強い要請もあってホール及び園庭にビデオカメラを設置しました。職員は日々子ども達の様子を見守り、事故のないよう細心の注意を払って保育していますが、万が一事故が起こったときに職員を守るためにも設置が必要と考えました。管理と運用については規定を定めていますが、現在のところ保護者より質問やビデオを見たい等の要望はありません。